

| | | | | | |
|------|-----------------|-----------|------------|--------|-----|
| 講義名 | ビジネス日本語 【留学生科目】 | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 辻 周吾 | 開講期・曜日・時限 | 後期 月曜日 2時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 2年生 |

主題と概要

毎回の授業で、まず、仕事の現場におけるビジネス日本語について指導します。その際に、BJT（ビジネス日本語能力テスト）の内容を中心に扱います。また、毎回、日本の各業界に関する記事をもとに、誤解を行います。グループワークを行うこともあります。

到達目標

仕事の現場におけるビジネス日本語を身につけ、活用することができるようになる。
業界や就職に関する語彙を身につけ、活用することができるようになる。
協働力・問題解決力・異文化理解力などを身につけられるようになる。

提出課題

毎回の授業中に小課題を課します。
日本の業界に関するテーマのレポートを課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

レポートや小課題について、授業中にフィードバックします。

評価の基準

授業への参加度 / 授業での小課題の提出（60%）、中間レポート（20%）、期末レポート（20%）

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎回、出欠をとります。
- ・15分以上の遅刻は、欠席とみなします。
- ・授業には、辞書を持って来てください。

教科書

・使用しない。

参考図書

| | | | | |
|------------------------------------|--------------------------|-------------|------|---------------|
| . BJTビジネス日本語能力テスト聴解・聴読解力養成問題集 第2版. | 宮崎道子(監修)・瀬川由美・北村貞幸・植松真由美 | スリーエーネットワーク | 2750 | 978498319768 |
| . BJTビジネス日本語能力テスト読解力養成問題集 第2版. | 宮崎道子(監修)・瀬川由美 | スリーエーネットワーク | 1320 | 9784883197699 |
| . BJTビジネス日本語能力テスト 体験テストと解説 改訂版. | 加藤清方 | 日本漢字能力検定協会 | 1980 | 9784890961863 |

その他

授業中にプリントや資料を配布します。

授業計画

1. BJT 聴解問題（描写問題） / 小売業界に関する記事
2. BJT 聴解問題（表現力問題） / 物流業界に関する記事
3. BJT 聴解問題（聴解問題） / 会社に関する記事
4. BJT 聴解問題（表現力問題） / 機械業界に関する記事
5. BJT 聴解問題（聴解問題） / 自動車業界に関する記事
6. BJT 聴解問題（文法読解問題） / アパレル業界に関する記事
7. BJT 聴解問題（表現力問題） / 食品業界に関する記事
8. 1～7回の記事のテーマに関するフィードバック
9. BJT 聴解問題（短文読解問題1） / 化粧品業界に関する記事
10. BJT 聴解問題（短文読解問題2） / 金融業界に関する記事
11. BJT 聴解問題（短文読解問題3） / 医療業界に関する記事
12. BJT 聴解試験（1回目） / 旅行業界に関する記事
13. BJT 聴解試験（2回目） / 不動産業界に関する記事
14. BJT 聴解試験（3回目） / 介護業界に関する記事
15. 8～14回の記事のテーマに関するフィードバック

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|---|--|
| <input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習） | <input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| <input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート | エ：グループワーク |
| <input type="radio"/> オ：プレゼンテーション | カ：実習、フィールドワーク |
| <input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・事前に配布する資料について大意読みと精読を行い、分からない語彙や文法を調べる...各授業2時間程度
- ・授業中に覚えた語彙や文法を確認し習得する...各授業2時間程度

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、仕事の現場における実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する科目です。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

業界をテーマとしたグループワークも行います。学生同士、また教員と学生間で議論する機会を設けます。

実務経験の有無及び活用

備考